

[セラピスト紹介]



西田 博明(にしだ ひろあき)

コスタリカ国連平和大学修士(UPEACE)修士。
高校生でノルウェーに留学、初恋を経験し、帰国。
その後、すぐに起きた9.11をきっかけに「どうすれば人と人が大切に出来るんだろう」を考え始める。19才で姉が死去。「人は何のために生きるんだろう」を考え始める。

現在はその経験をもとに、エグゼクティブコーチとして、経営者の意思決定や、後継者育成の支援をするとともに、チーム作りや異文化理解を伝えている。

スイス・ベネズエラでのセミナー開催、チリ留学、コスタリカ留学、
世界青年の船ファンリテーターなど、仕事や勉強を中心に、41ヶ国に滞在した経験がある。
やせの大食い、食いしん坊。大体どこの国の料理でもおいしく食べられる。SF小説が大好き。



林 薫(はやし かおる)

名前の暗号を解読するソウルプランプラクティショナー。未来予言はしない占い師。
ファッションデザイナーを目指すも19歳で人生が骨折。
しばらく廃人生活を送るなど紆余曲折を経て生活雑貨メーカーに就職。
現場からの叩き上げで、社長の右腕ならぬ「壁」として思考の整理に重用され、人事採用や直営店統括などさまざまな業務や管理職を経験。

仕事は楽しいのいつしか身体と心がクラッシュ。
2012年頃から精神世界や身体と心の勉強を始め、生来の霊感体質を認めコントロールできるようになる。

退職後の2015年に突然閃き、夜中にソウルプランを検索し2016年に直伝講座を受講。
ソウルプラン上級プラクティショナー、ソウルプラン上級ヒーラーとなる。

本を読んだり勉強するのが好き。マニアックな着眼点で知識欲が暴走する。
タロットカードやダウジングなど占いツールを駆使したカウンセリングが得意。
口ぐせは「わーい!」「すごーい!」「オモシローい!」。新鮮なくだものがあればゴキゲン♡
企業の社員教育研修やものづくり企業向けのブランディング講座の講師というマジメな一面も。



鶴身 知子(つるみ ともこ)

鶴身印刷所4代目。ものづくりと学びの場所として戦前から建っていた印刷工場をリノベーション。
クリエイターの集まる複合施設を作る。大家業を営みつつ講座やワークショップの企画運営も行う。

会社を継ぐのと同じタイミングで、セラピストになるべく勉強を始める。
タイ古式マッサージから入ったものの、気が付くとソマティック系(体と心は一つと考える)
フェルデンクライス・メソッドという「学び方を学ぶ」(説明がしにくい)ボディワーク?に突き進み、
現在も習得中(2019年4月卒業)。
並行して、フォーカシング指向療法・クリーンランゲージ(カウンセリング)、オステオパシー、
エネルギーワークを学ぶ。

これまでは主にイベントでセッションをしつつ、リノベーション後は、印刷所にて、
からだどころと見えないものを織り交ぜながらボディワークやカウンセリングも行う。

自然や動物が好き。猫と植物によく話しかける。
最近の関心は、一緒に住んでいる猫が、寝ている私の頭を噛んでくるとき、
「お腹が空いた」なのか、「抱っこして」なのか、1度で分かるにはどうしたらいいか、ということ。

鶴身印刷所

〒536-0015 大阪市城東区新喜多1-4-18

HP <http://tsurumi-print.com/>

Mail info@tsurumi-print.com

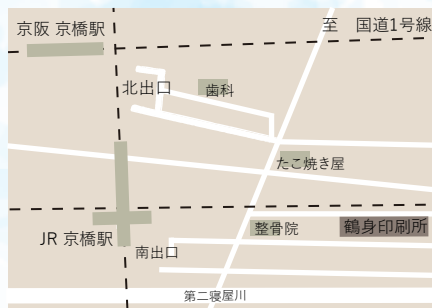
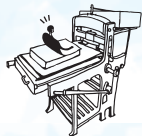
Tel 090-6066-3227

JR京橋駅(南出口)より徒歩5分

京阪電車 京橋駅より徒歩10分

地下鉄鶴見緑地線 京橋駅より徒歩15分

駐車場のご用意はございません。



セラピストによるイベント

「わたしの日」

2018年12月2日(日)
11:00 ~ 18:00

わたしって、いったいなんだろう。

父親としての自分。母親としての自分。

娘、息子としての自分。

兄として、姉として、弟として、妹としての自分。

会社員、先生、お店のスタッフ、お仕事をしているときの自分。

車を運転しているとき、道を歩いているとき、眠っているとき。

関係性の中にある「わたし」

立場としての「わたし」

何かを行っているときにいる「わたし」

どれも「わたし」だけれど、それぞれ同じようで、違うようで。

あるときはそれがしっくりきていたり、

あるときはそれがちょっとしんどくなったり。

わたしって、なんだろう。

どうしたら、からだやこころが心地よくいられるのかな。

悩んでいること、困っていること、どうしたらいいんだろう。

どんな夢や目標を持ちたいのかな。

今ある思いと、どう付き合っていきたいのかな。

「わたしの日」は、様々なアプローチで、自分のことを知り、気づき、
自分との関係性をより良く結び直し、信じる。

そのきっかけを作るための体験を得るイベントです。